

車両 TWINDEXX 車両の挑戦的デザイン

原題 : Das Interieur des TWINDEXX Express-Eine Design-Herausforderung
誌名 : ETR : Eisenbahntechnische Rundschau Vol.65 No.11 (2016-11) pp.42-46

2階建て車両を製作して運用することは、既存のインフラを用いて乗客の増加に対応するための妥協案です。2階建て車両は車体寸法の限界や車体内部に設備を詰め込むなどの避けられない制約があり、インテリアデザインに配慮が必要です。SBB (スイス国鉄) の TWINDEXX Express の場合、乗客と鉄道側の双方の



出典:Eisenbahntechnische Rundschau
TWINDEXX Expressの外観

文化的期待に応える必要がありました。この2階建て高速電車の特徴は次のとおりです。インターシティの場合、8両編成で全長200m、1階と2階には1等と2等の座席だけでなく、一般トイレと身障者用トイレも設置されています。荷物置場、自転車・乳母車・スキー板の置場、食堂、車内販売車のスペース、エレベーター、身障者用スペースもあり、家族コンパートメントには子供のおもちゃも置いてあります。

輸送 ヨーロッパにおける夜行列車

原題 : A brighter future at night
誌名 : RGI : Railway Gazette International Vol.173 No.1 (2017-1) pp.33-35

フランスやドイツなどヨーロッパの鉄道では夜行列車の廃止が相次いでいますが、オーストリア連邦鉄道では拡充する方針であり、2016年12月のダイヤ改正でハンブルク～チューリヒ間、ミュンヘン～ローマ間など6区間の新しいルートの列車を増発しました。同鉄道の夜行列車拡充プロジェクトの投資は4000万ユーロに上ります。この列車は、シニア世代の観光需要をターゲットとした寝台車、家族旅行やグループ旅行向けのクシェット (簡易寝台) 車、若者向けの座席車など、さまざまな車両で構成されています。



出典:Railway Gazette International
夜行列車のブランド名Nightjet

輸送安全 続発するアメリカの通勤列車事故の要因

原題 : Drive safely
誌名 : RGI : Railway Gazette International Vol.173 No.2 (2017-2) pp.26-26

アメリカ北東部で通勤列車の事故が続発しています。2016年10月にニュージャージー鉄道の終着駅で減速を誤り、コンコースに突っ込んで死者1名を出しました。ロングアイランド鉄道では今年1月、終着駅で1両が脱線して多くの負傷者を出しました。アメリカの都市鉄道は、朝ラッシュ時と比べて日中の運転頻度が、たとえば5分の1と極端に少ないです。そのため運転士の作業も1日に朝と夕の2度出勤や早朝からの長時間勤務などがあります。また、非電化区間ではエンジンによる騒音や排気ガスによる運転室の環境悪化のケースもあり、運転士の体調管理が難しい状況です。保安システムの設置を2015年までに行うよう議会で決められましたが、技術的問題と資金難で3年間猶予されました。しかし、それでも完了できない見通しです。



出典:Railway Gazette International

ラッシュアワーに発生したロングアイランド鉄道の事故の様子

軌道 統合化した線路保守

原題 : Durchgängige Schieneninstandhaltung : Weichenbearbeitung im Fahrplan
誌名 : EI : Eisenbahningenieur Vol.67 No.12 (2016-12) pp.46-50

高速レール研磨装置の成功裏の経験に関連して、予防的な分岐器調整を含む統合化した線路保守への期待が高まっています。DB Netz社とVossloh社は2013年にさまざまな試験を始めましたが、それにはばね動作式分岐器への高速研磨の投入が含まれています。カッセル～フルダ間的高速走行軌道においては、2016年初めから、分岐部を含めて高速研磨装置による研磨



出典:Eisenbahningenieur

トロッコ上で実施されるFlexisシステム

が実施されています。さらに分岐側レール調整にはFlexisシステムが必要です。これらの装備を用いることにより、線路管理者は保守を効率的に計画し、コスト低減を図ることができます。



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。
⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。
⇒問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp